

一般質問(要旨)

質問者

こちらから録画映像でご覧になります。



9月7日(木)

磯崎 達也

(いばらき自民党)

9月11日(月)

高安 博明

(国民民主党)

ヘイズ ジョン

(茨城無所属の会)

秋元 勇人

(いばらき自民党)

木村 喜一

(いばらき自民党)

金子 晃久

(いばらき自民党)

9月8日(金)

村本 修司

(公明党)

9月12日(火)

松田 千春

(いばらき自民党)

小松崎 敏紀

(いばらき自民党)

豊田 茂

(いばらき自民党)

金子 敏明

(無所属)

川口 政弥

(いばらき自民党)



磯崎 達也 議員
いばらき自民党
ひたちなか市選出

精神障害者2級へのマル福適用の拡大

議員 精神障害者の就労があまり進まない中、精神障害者手帳2級保持者にまでマル福を適用すべきではないかと考えるが、所見は。

知事 手帳2級保持者に本県のマル福同様の医療費助成をしている

県は全国で8県のみであるが、精神障害者が苦しい経済状況にあることも承知している。手帳2級保持者へのマル福適用については、県の財政状況、身体・知的障害者との公平性などを勘案しながら、積極的に検討していく。

質問

（ほかに、ひたちなか地区の工業団地開発で目指す産業集積の姿、教員の労働環境改善なども質問）



ロック・イン・ジャパンとラッキーフェスの開催の様子(国営ひたち海浜公園)

ロック・イン・ジャパン、ラッキーフェスの二大フェスの支援

議員 来年の本県でのロック・イン・ジャパン成功の後押しと、ラッキーフェスを本県の二大フェスへ育てるため、どう取り組むのか。

営業戦略部長 ロック・イン・ジャパン、ラッキーフェスは、誘客効果や経済効果が高く、本県の知名度向上につながることから、関係者間の調整やプロモーションなど、事業を後押ししてきており、引き続き、開催に協力していく。



ヘイズ ジョン 議員
茨城無所属の会
つくば市選出

店頭でタバコを子どもに見せない取組

議員 コンビニなどのレジ裏のタバコの陳列は、子どもの喫煙を招いている。経済的・効果的ながら予防として、諸外国同様、店頭でタバコを子どもに見せないようにすべきと考えるが、見解は。

知事 若年層の喫煙開始を防ぐには、県民の喫煙率を下げ、子どもの周りで喫煙しないことなどが特に重要である。喫煙の健康への影響に関する普及啓発や禁煙支援、受動喫煙防止対策などにより、県民の健康づくりに取り組んでいく。

公用車への電気自動車の導入及び県有施設における再生可能エネルギー設備の導入促進

議員 脱炭素を進めるため、公用車に電気自動車を導入し、充電ステーションにもなるソーラーカーポートを県駐車場へ設置いただきたいが、どう取り組むのか。

県民生活環境部長 技術の進歩やコスト動向、各県有施設の状況などを踏まえながら、電動車やソーラーカーポートなどの再生可能エネルギーの導入促進に取り組む。

（ほかに、つくば市内道路へのバスの導入、つくば市内道路へのバス入と県内道路の歩道の修繕、つくば地域の県立高校の不登校への対策も質問）



電気自動車と充電設備(県庁舎)



木村 喜一 議員
いばらき自民党
小美玉市選出

茨城空港の利用客増加のための取組

議員 茨城空港の利用客増加のため、県には積極的に取り組んでもらいたい。県の取り組みの現状と今後の方針は。

知事 台北便の運航再開を契機としたインバウンド対策や、近県でのプロモーションなどによりアウトバウンドの利用促進を図っている。今後、急回復する航空需要を取り込んでいけるよう、さまざまな利用促進策を講じていく。また、発着枠拡大のため、政府関係各所と調整を進めていく。

（ほかに、高病原性鳥インフルエンザへの対策、空家対策の促進なども質問）



茨城空港における空の日イベントの様子

在宅医療体制の充実

議員 在宅医療体制の充実のため、県の取り組みの現状と今後の方針は。

保健医療部長 医師が在宅医療に参入しやすいよう複数の医療機関が相互に支援する体制づくりや、多職種連携体制構築のための会議の開催、訪問看護師の確保・質の向上を図るための研修などを実施している。今後も引き続き、在宅医療体制の充実を図っていく。

（ほかに、高病原性鳥インフルエンザへの対策、空家対策の促進なども質問）



村本 修司 議員
公明党
日立市選出

核融合産業を活用した県内中小製造業の振興

議員 QSTが県内に立地する地の利を生かし、核融合を県内、特に県北の中小製造業の中核産業として発展させるべきだが、所見は。

知事 QSTは実験機器を整備する予定と聞いており、技術力のある県北の製造業が核融合産業に参入するチャンスと捉えている。県では、「いばらき量子線利活用協議会」による核融合産業への参入支援などにより、県内中小製造業の参入を後押ししていく。

公立学校体育館へのエアコン設置促進

議員 国は、避難所の役割も担う体育館の空調設置を支援しており、県は、公立学校体育館へのエアコン設置を推進すべきだが、所見は。

教育長 県では、今年6月までに全ての県立学校の体育館メインアリーナに空調設備を整備した。一方、市町村立小中学校の設置率は全国平均を下回るため、国交付金の補助率が時限的に引き上げられていることを説明するなどして、整備促進を働き掛けていく。

（ほかに、県北振興チャレンジプランの改定方針、精神障がい者のマル福適用範囲の拡大なども質問）



市町村立学校体育館の空調設備(守谷市立愛宕中学校)

令和5年度9月補正予算案が可決

原油価格・物価高騰を機に、新たなチャレンジに取り組み事業者への支援や、令和5年台風第13号に伴う災害により被災した方々への支援、県政の課題などへの対応のほか、本年6月の大雨からの災害復旧など社会資本の整備のために必要な予算を計上した9月補正予算案(約133億1700万円)が可決されました。

9月補正予算案に計上された主な事業

- 1 原油価格・物価高騰等対策(6億5000万円)
 - 新 干しいも資源循環モデル形成支援事業(干しいも未利用部分の飼料化などに必要な施設や機械などの導入に対する補助)
 - 新 メロン産地新市場開拓チャレンジ事業(メロンのブランド力強化と輸出拡大のための安定生産に向けた設備などに對する補助)
- 2 新型コロナウイルス感染症対策(20億100万円)
- 3 令和5年台風第13号に伴う災害により被災した方々への支援(20億8400万円)
- 4 県政の課題等への対応(52億800万円)
 - 新(仮称)神栖特別支援学校整備事業(児童生徒の長距離通学の解消に向け神栖市内に新たに特別支援学校を建設するための設計など)
- 5 社会資本の整備(33億7400万円)

ことば

※1【電動車】…電気を動力に使う車。電気自動車、ハイブリッド車、プラグインハイブリッド車、燃料電池車を指す。
※2【QST】…国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構の略称。那珂市に研究拠点の一つがある。研究分野は、核融合のほか、放射線医学や量子ビームなど。
※3【核融合】…水素のような軽い原子核同士が融合して、ヘリウムなど、より重い原子核に変わること。化石燃料などに続く新たなエネルギー源として、世界で研究されている。